

第3章 地域別構想

3-1 地域区分

1 地域区分の基本的な考え方

「京丹後市都市計画マスタープラン」は、第3次京丹後市総合計画に基づき、都市計画区域以外も含む市全域の地域づくりの基本的な方針を示します。

地域別構想の地域区分の設定は、地形等の自然的条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲等を考慮し、各地域像を描き施策を位置付ける上で適切なまとまりのあるエリアの範囲とします。

6町が合併した歴史、またそれぞれの地域特色に応じた機能を高める観点から、下図のとおり、峰山地域、大宮地域、網野地域、丹後地域、弥栄地域、久美浜地域の6つの地域に区分することとします。



図—38 地域区分図

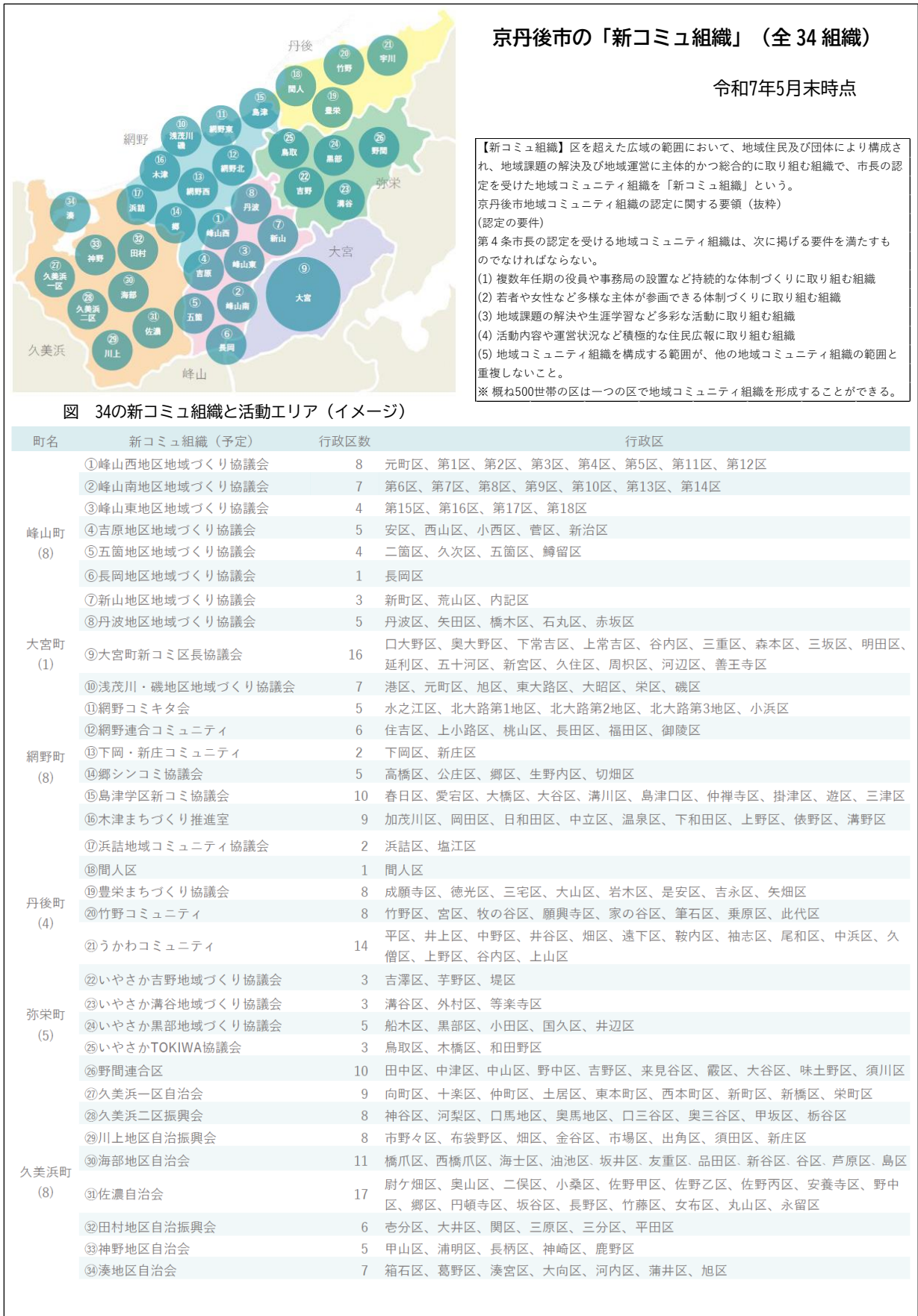
3-2 地域別構想

■地域別構想の位置付け

地域別構想は、全体構想と整合を図りながら、地域ごとの特性などの実情を踏まえて、地域の視点から、まちづくりの方針を明らかにするとともに、地域住民と行政の協働による地域づくりの取組を示すものとします。なお、地域区分ごとの個別の都市計画・まちづくり事業については、都市計画マスタープランとの整合性に留意しながら、策定・改定を図るものとします。

また、各地域では、市民局周辺を地域拠点として、地域内の各行政区と道路交通網で結ぶことにより、日常生活機能の維持・保全のみならず、各地域でのコミュニティ組織（新コミュ）の活動を支援及び連携を図りながら、地域のまちづくりを推進します。

■京丹後の新コミュ組織



1 峰山地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和 2（2020）年国勢調査時人口は 11,337 人で平成 27（2015）年 12,028 人から 691 人減少（△5.7%）しています。
- ・峰山町は、京丹後市の概ね中央に位置しており、面積 67.40 km²を有しています。



イ 地形及び立地状況等

- ・峰山地域の市街地には小西川が流れるほか、市内を南北にまたぐ竹野川が近くに流れるなど、うるおいのある市街地を形成しています。
- ・国道 312 号、国道 482 号、（主）網野峰山線、（主）網野岩滝線、（一）間人大宮線により他地域と連絡しています。
- ・既存市街地は、市役所などの行政サービスのほか、事業所や商店街などの商業店舗が多く立地しており、これまでから峰山地域の中心市街地としての役割を果たしています。
- ・近年は、国道 312 号、国道 482 号沿いで大型店舗等のロードサイド型店舗の立地が進んでおり、市内最大の商業施設が立地しています。
- ・これまで、小西川の浸水被害の解消に向けた河川改修の取組が進められてきました。

ウ 地域の特徴

- ・市内でも工業生産が盛んで、赤坂工業団地など機械金属製造業や、絹織物産業（丹後ちりめん）が中心的な産業となっていますが、近年、繊維産業の縮小傾向は顕著です。
- ・主要地方道網野峰山線沿いには古くから商業地が形成され、御旅市場や金刀比羅神社門前町、また丹後震災記念館周辺などの歴史的な建物や街なみが残されていますが、近年は、商業機能の空洞化が進行しています。
- ・市民の健康スポーツの拠点である峰山総合公園が近接し、周辺には同様の機能を持つ峰山途中ヶ丘公園が立地しています。

(2) 拠点方針

ア 都市拠点

市全域に波及するサービス機能として大型商業施設のほか国道 312 号及び国道 482 号沿道でのロードサイド型など主に商業地機能の維持・向上を図り、既存市街地である地域拠点との役割分担を図ります。

イ 地域拠点

峰山駅から市街地の地域拠点では、商業地・業務地・住宅地として、生活サービス機能を維持・充実し、まちなか空間の形成を図ります。

地域住民・周辺地域の暮らしを支えるため行政の効率化と行政サービスの利便性向上を推進します。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・用途地域等の活用により商業・工業等の振興と土地利用の誘導を図ります。
- ・機械金属製造業等が立地する赤坂工業団地や工業地では、工業系土地利用の維持・充実に図ります。

イ 道路交通網

- ・生活機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進について関係機関との調整を図ります。
- ・山陰近畿自動車道の（仮）大宮峰山 IC アクセス道路の（都）峰山インター線整備を関係機関と調整し促進します。
- ・山陰近畿自動車道の（仮）峰山弥栄 IC アクセス道路の整備を関係機関と調整し促進します。
- ・国道 312 号五箇バイパスの整備について関係機関と調整して促進します。
- ・（主）網野峰山線のリダンダンシー（代替性）確保のため（一）掛津峰山線丹波バイパスの整備について関係機関と調整し促進します。
- ・緊急輸送道路を補完する市道杉谷安線の拡幅改良について取り組みます。
- ・都市計画道路については、必要性、道路現状、交通状況を踏まえて見直しを検討します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

- ・地域住民の健康増進のため、峰山総合公園、峰山途中ヶ丘公園等の活用を促進します。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・赤坂工業団地等の既存の工業立地の維持・向上を図ります。
- ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上を図ります。
- ・金刀比羅神社周辺の歴史資源を活用し、散策が楽しめる歩行空間の創出を形成します。
- ・日本の稲作発祥と伝えられる「月の輪田」を観光資源として活用します。

エ 都市基盤

- ・公共下水道の整備を推進し、早期の完了に努めます。
- ・竹野川及び小西川の河川改修を関係機関とともに促進し、安全で災害に強い市街地の形成を図ります。

主要地方道(主):高速道路及び一般国道と一体となって広域交通を分担する幹線道路(府道)。

一般府道(一):主要地方道以外の府道で、地域住民の生活に密着した道路。

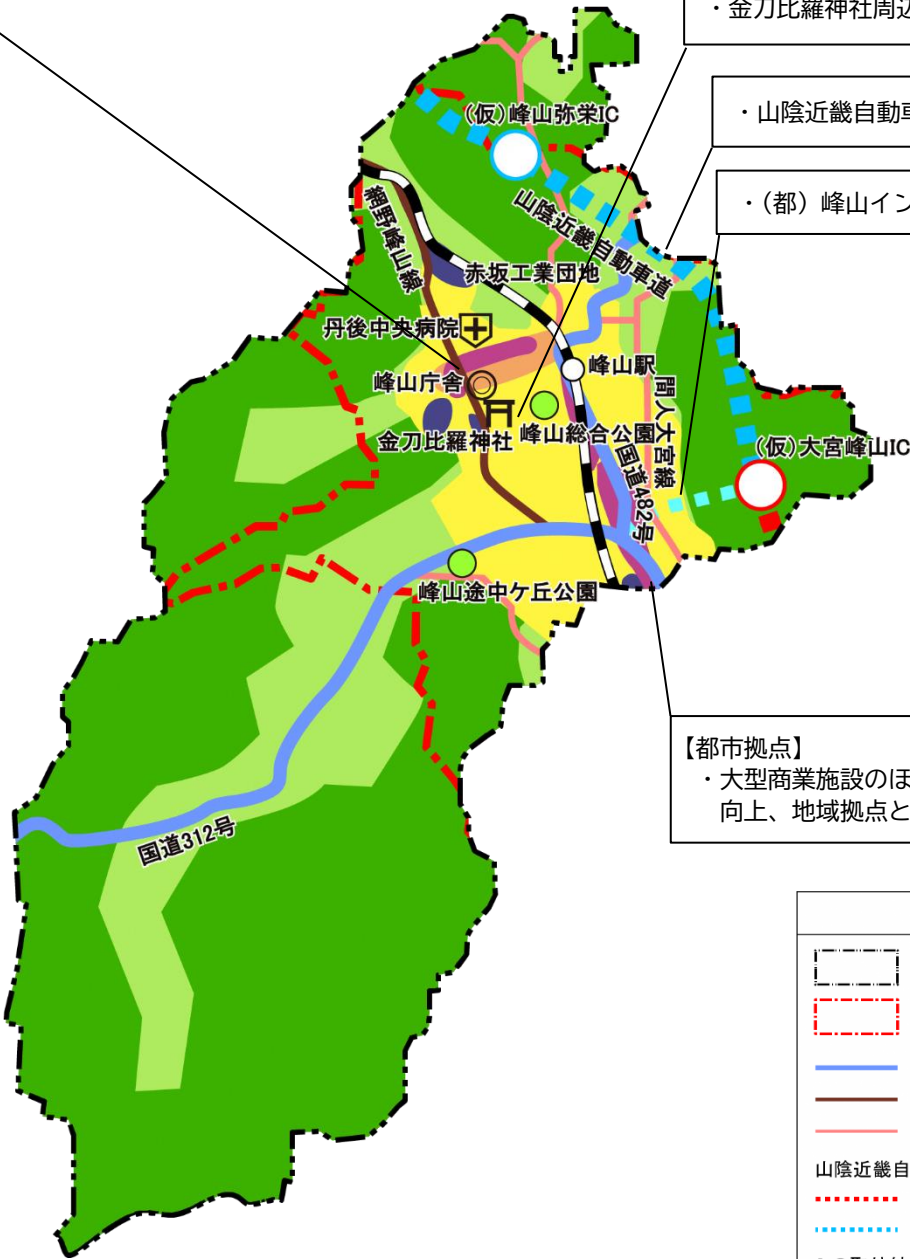
都市計画道路(都):都市計画法に基づき計画決定されている道路。

【地域拠点】
 ・商業地・業務地・住宅地として、生活サービス機能を維持・充実し、まちなか空間の形成を図る
 ・行政の効率化と行政サービスの利便性向上

・金刀比羅神社周辺の歩行空間の創出

・山陰近畿自動車道の整備促進

・(都) 峰山インター線の整備促進



【都市拠点】
 ・大型商業施設のほか、商業地機能の維持・向上、地域拠点との役割分担を図る

【その他】
 ・国道 312 号五箇バイパスの整備促進
 ・(一) 掛津峰山線の整備促進
 ・市道杉谷安線の拡幅改良
 ・都市計画道路の見直し検討
 ・竹野川及び小西川の河川改修促進
 ・公共下水道の整備推進
 ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上
 ・峰山総合公園、峰山途中ヶ丘公園の活用促進
 ・「月の輪田」を観光資源として活用

凡 例	
	地域界
	都市計画区域
	国道
	主要地方道
	一般府道
山陰近畿自動車道	
	整備中
	未供用
I C 取り付け道路	
	未整備
	鉄道
	商業地
	業務地
	工業地
	住宅地
	農業地
	森林地

図—39 峰山地域の土地利用図

2 大宮地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和 2（2020）年国勢調査時人口は 9,575 人で、平成 27（2015）年 10,122 人から 547 人減少（△5.4%）しています。
- ・大宮町は、京丹後市の南部に位置しており、面積 68.87 km²を有しています。



イ 地形及び立地状況等

- ・大宮地域は、竹野川沿いに集落や農地が形成されています。
- ・国道 312 号、（主）網野岩滝線、（一）間人大宮線、市道長岡口大野線などにより他地域や市外と連絡しています。
- ・京丹後大宮駅前の市道周辺（口大野）に形成されていた商業地から、国道 312 号の整備に伴いロードサイド型店舗の集積が進み、商業機能が国道 312 号に移行しつつあります。
- ・森本工業団地では、京丹後大宮インターチェンジの開通（平成 28（2016）年 10 月）以降、4 社が企業立地し、地域経済の活性化、新たな雇用の創出に繋がっています。
- ・善王寺や周枳地区では、ほ場整備がなされた後に一部の農業振興地域農用地の指定解除された場所で、小規模な戸建住宅開発が進行しています。

ウ 地域の特徴

- ・大宮地域は、山陰近畿自動車道や国道 312 号、（主）網野岩滝線などを通じて京阪神や隣接町とつながる、広域的なネットワークの南側の玄関口となっています。
- ・大宮地域は農業を中心とする地域で、水田耕作のほか平野部の丘陵地帯には、国営開発農地（畑作）が整備されています。また、絹織物産業のほか、清水工業団地などには、機械製品製造業が立地しています。
- ・大宮賣神社などの歴史資源が点在するほか、大宮自然運動公園などの地域性を活かした公園の整備が行われています。
- ・大宮地域の中央部に、まちの骨格を形成する竹野川が流れ、河川沿いの遊歩道などうらおいのある市街地を形成しています。この竹野川の上流部には、北近畿最大級の貴重なブナ林など自然度の高い環境が残されています。

(2) 拠点方針

ア 都市拠点

市全域に波及するサービス機能として大型商業施設のほか国道 312 号及び国道 482 号沿道でのロードサイド型など主に商業地機能の維持・向上を図り、既存市街地である地域拠点との役割分担を図ります。

イ 地域拠点

大宮庁舎周辺の竹野川から国道 312 号にかけての市街地の地域拠点は、商業地・住宅地として、生活サービス機能の維持・充実し、まちなか空間の形成を図ります。

国道 312 号沿道には、商業施設の誘導を図り、地域拠点の周辺では、良好な住宅地の維持・向上を目指します。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・用途地域等の活用により商業・工業等の振興と土地利用の誘導を図ります。
- ・森本工業団地や清水工業団地では、工業系土地利用の維持・充実を図ります。
- ・国道 312 号沿道には、商業施設の誘導を図ります。
- ・平地等の農業地、国営農地開発地では、農業振興を基本とした土地利用を図ります。

イ 道路交通網

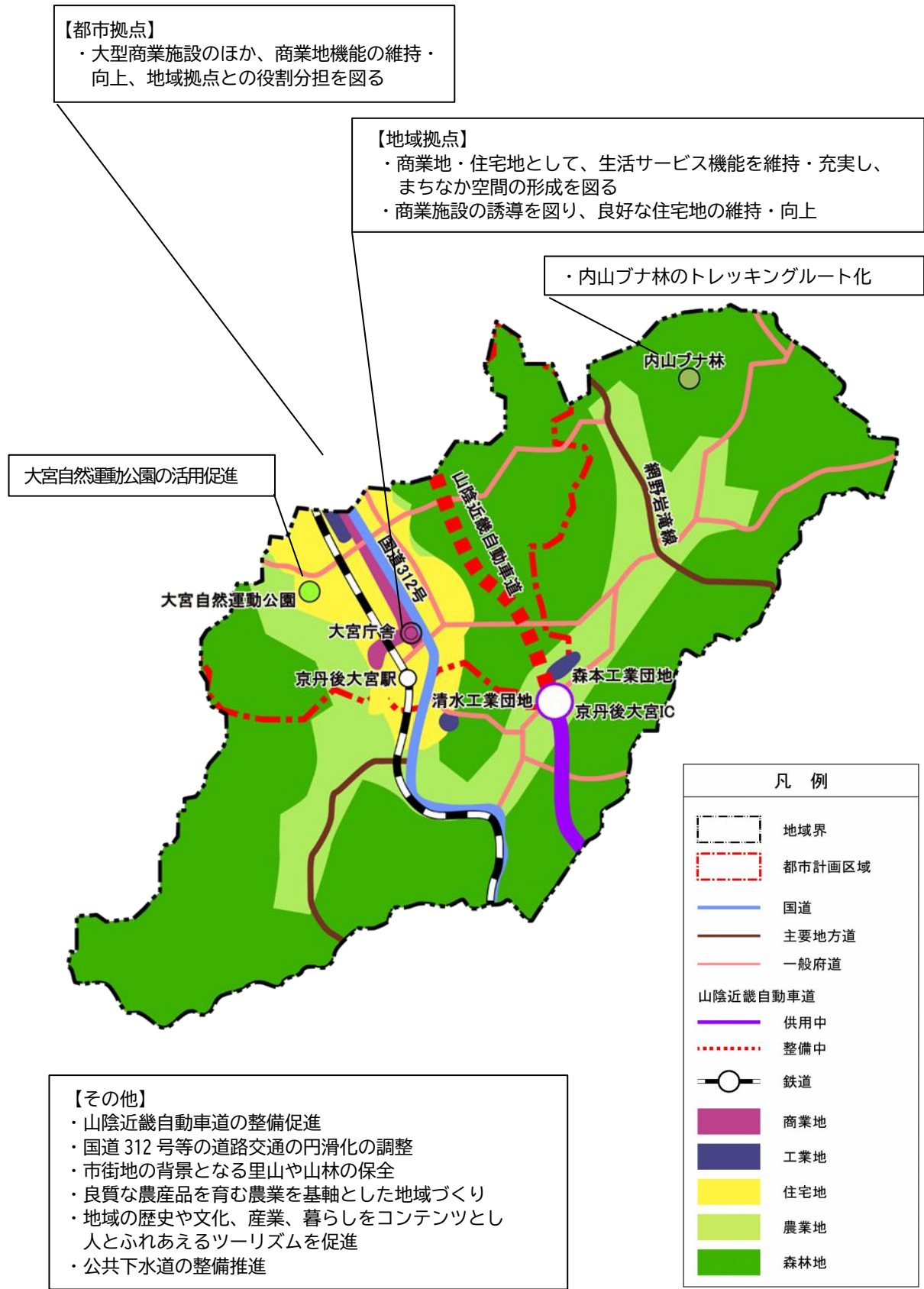
- ・生活機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上、他地域や市外との連絡性を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進を関係機関と調整し推進します。
- ・大宮峰山道路（山陰近畿自動車道）の早期完成を促進し、国道 312 号等の道路交通の円滑化について関係機関と調整し促進します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

- ・森本工業団地等の既存の工業立地の維持・向上を図ります。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・身近な医療環境として市立診療所の医療機能の維持・確保に努めます。
- ・地域住民の健康増進のため、大宮自然運動公園の活用を促進します。
- ・竹野川の最上流部として、環境に配慮し、市街地の背景となる里山や山林の保全を通じて、良質な農産物を育む農業を基軸とした地域づくりを推進します。
- ・内山ブナ林のトレッキングルート化などネイチャーツーリズム造成に取り組みます。
- ・小町公園、農業体験、農家民泊、温泉等と、地域の歴史や文化、産業、暮らしをコンテンツとし人とふれあえるツーリズムを促進します。

エ 都市基盤

- ・公共下水道の整備を推進し、早期の完了に努めます。



図一40 大宮地域の土地利用図

3 網野地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和2（2020）年国勢調査時人口は11,778人と市内で最も多いものの、平成27（2015）年12,931人から1,153人減少（△8.9%）しています。
- ・網野町は、日本海沿岸の中央部に位置しており、面積75.01km²を有しています。



イ 地形及び立地状況等

- ・市街地は八丁浜で日本海に接し、琴引浜や離湖が近接するほか、福田川が市街地に隣接するなど、沿岸のうるおいのあるまちを形成しています。
- ・国道178号、（主）網野峰山線、（主）網野岩滝線などにより他地域と連絡しています。
- ・市街地内には、小売店舗を中心とした商店街が形成されており、近年、（一）浅茂川下岡線のロードサイド型店舗の増加などもあり空洞化の傾向にあります。
- ・八丁浜シーサイドパークは、海洋レクリエーションや健康スポーツの拠点として活用されています。
- ・これまで福田川の浸水被害の解消に向けた河川改修及び内水対策等の取組が進められてきました。

ウ 地域の特徴

- ・網野地域は絹織物産業（丹後ちりめん）の主要な産地ですが、近年縮小傾向でまちなかの機業地の減少が進んでいます。
- ・府下有数の観光温泉地（夕日ヶ浦、木津、掛津）であり、旅館、ホテル、民宿などが集積し、冬場のカニシーズンや夏場の海水浴シーズンには、多くの観光客が訪れています。
- ・史跡として整備された網野銚子山古墳や、ちりめん機屋の街なみなどが、歴史文化のまちのイメージを形成しています。

(2) 地域拠点方針

網野駅から海岸までの地域拠点は、住宅地・商業地として、生活サービス機能を維持・充実し、市内最大の市街地としてのまちなか空間の形成を図ります。

基幹産業の職住近接や海辺のまちとして、地域で生活し活動するために必要なサービスや施設など都市機能の維持向上を図ります。

網野駅周辺の交通結節機能の強化とまちなか観光との連携を図ります。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・海の京都「夕日ヶ浦エリア」、「琴引浜・間人交流地区」や「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」を活用するとともに、美しい海岸線等自然景観や史跡を保全・活用し、観光振興を図ります。
- ・用途地域等の活用により商業・工業等の振興と土地利用の誘導を図ります。
- ・基幹産業の工場と住宅が混在する地域は、工業機能と居住地の共存を図ります。

イ 道路交通網

- ・山陰近畿自動車道の（仮）大宮峰山 IC から（仮）網野 IC までの区間について、関係機関と調整し早期に事業化されるよう促進します。
- ・山陰近畿自動車道の網野から久美浜間の早期ルート決定及び早期事業化を関係機関と調整し促進します。
- ・山陰近畿自動車道にアクセスする（都）網野インター線の整備を関係機関と調整し促進します。
- ・生活サービス機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進を関係機関と調整を図ります。
- ・都市計画道路については、必要性・道路現状・交通状況を踏まえて見直しを検討します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

- ・網野庁舎跡地を活用し交流と賑わいの拠点を形成します。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・八丁浜シーサイドパークを核とした、スポーツやレクリエーション等余暇活動の拠点の形成と、維持管理に努めます。
- ・網野銚子山古墳（史跡）を活用した観光を促進します。
- ・京都府景観資産に登録されている「琴引浜の白砂青松と鳴砂」の保護・保全に努めます。
- ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上を図ります。

エ 都市基盤

- ・公共下水道の整備を推進し、早期の完了に努めます。
- ・福田川及び新庄川の河川改修を関係機関とともに促進し、安全で災害に強い市街地の形成を図ります。
- ・市街地内の浸水防除の観点から、水路の改修を推進します。

都市計画道路(都):都市計画法に基づき計画決定されている道路。

【地域拠点】

- ・ 網野駅から海岸までの地域を住宅地・商業地として生活サービス機能を維持・充実するまちなか空間の形成を図る
- ・ 網野庁舎跡地の拠点形成
- ・ 網野駅周辺の交通結節機能の強化とまちなか観光との連携

・ 八丁浜シーサイドパークを核とした拠点形成・維持管理

・ 「琴引浜の白砂青松と鳴砂」の保護保全

・ 海の京都「夕日ヶ浦エリア」を活用した観光促進

・ 網野銚子山古墳を活用した観光促進

【その他】

- ・ 山陰近畿自動車道の整備促進
- ・ (都) 網野インター線の整備促進
- ・ 都市計画道路の見直し検討
- ・ 「琴引浜・間人交流地区」を活用した観光促進
- ・ 「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」を活用した観光促進
- ・ 良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上
- ・ 福田川及び新庄川の河川改修促進
- ・ 市街地内の浸水防除の観点から水路の改修推進
- ・ 公共下水道の整備推進

凡 例	
	地域界
	都市計画区域
	国道
	主要地方道
	一般府道
山陰近畿自動車道	
	調査中(都市計画決定済)
	未指定区間
I C取り付け道路	
	未整備
	鉄道
	商業地
	住宅地
	農業地
	森林地
	海岸地

※山陰近畿自動車道(仮称)網野インターチェンジから久美浜町までの区間は調査中であり計画決定されたものではありません。

図一41 網野地域の土地利用図

4 丹後地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和 2（2020）年国勢調査時人口は 4,657 人で、平成 27（2015）年 5,316 人から 659 人減少（△12.4%）しており、市内で最も減少率が高くなっています。
- ・丹後町は、日本海沿岸の北東部に位置しており、面積 64.89 km²を有しています。



イ 地形及び立地状況等

- ・丹後地域は本市の東部に日本海に面して位置し、国道 178 号、国道 482 号、（一）間人大宮線により他地域や市外と連絡しています。
- ・地域の大半は、山地で占められており、西部の間人漁港周辺に市街地が形成されるほか、海岸線に並走する国道 178 号沿道に漁村集落が点在しています。
- ・リアス海岸の沿岸に市街地や集落が形成され、中心的な間人地区では、間人漁港を中心とした傾斜地沿いに古くからの漁村集落が拡大してきたため、建物の密集度が高く、狭隘な道路が多くみられます。
- ・間人の集落周辺住民を対象に小規模な商業施設が立地していますが、買い物は他地域に依存している傾向にあります。
- ・集落地内の建物の多くが海風の強い地域性を反映して、杉下見板張の様式の建築が数多く、特徴的な景観を形成しています。
- ・急傾斜地では過去に土砂災害が発生し、急傾斜地対策事業が実施されています。

ウ 地域の特徴

- ・間人漁港をはじめとした漁業が盛んで、「間人ガニ」が地域ブランドとして知名度が高く、観光客を集める資源ともなっています。
- ・これまで、絹織物産業（丹後ちりめん）の出機が多く見られましたが、近年は減少傾向にあります。
- ・丹後地域は海岸線に形成されていることから、丹後松島、立岩、屏風岩、城嶋、経ヶ岬などの景勝地に恵まれ、依遅ヶ尾山など自然豊かな地域を形成しているほか、神明山古墳などの歴史的な資源も有しています。
- ・丹後古代の里資料館、てんきてんき丹後、淀高原、宇川温泉などの観光施設、袖志の棚田などの観光資源が点在しています。

(2) 地域拠点方針

丹後庁舎周辺の市街地の地域拠点は住宅地・商業地として、生活サービス機能を維持・充実し、便利で暮らしやすいまちなか空間の形成を図ります。

丹後半島における観光等のネットワーク拠点や海業と、地域内への生活機能を提供する拠点の形成を目指します。

地域で生活し活動するために必要なサービスや施設など都市機能の維持向上を図ります。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・海の京都「琴引浜・間人交流地区」、「丹後の立岩・屏風岩・丹後松島・経ヶ岬の海岸景観」、依遅ヶ尾山から見渡せる丹後半島における海と山を活用した、丹後半島における観光等のネットワーク拠点の形成を目指します。
- ・商業機能の集積を促し、地域活力向上の促進と良好な住環境の形成を図ります。

イ 道路交通網

- ・生活機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進を関係機関と調整を図ります。
- ・(主) 浜丹後線上野平バイパスの整備及び国道 178 号(袖志工区)の拡幅整備を関係機関と調整し促進します。
- ・市外とつながる丹後半島一周道路として、災害に強い強靱な道路ネットワークの構築、観光振興に資する国道 178 号白南風トンネル(袖志地区)の拡幅等について関係機関と調整を図ります。
- ・(一) 間人大宮線丹後弥栄道路(丹後工区)の整備を関係機関と調整し促進します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

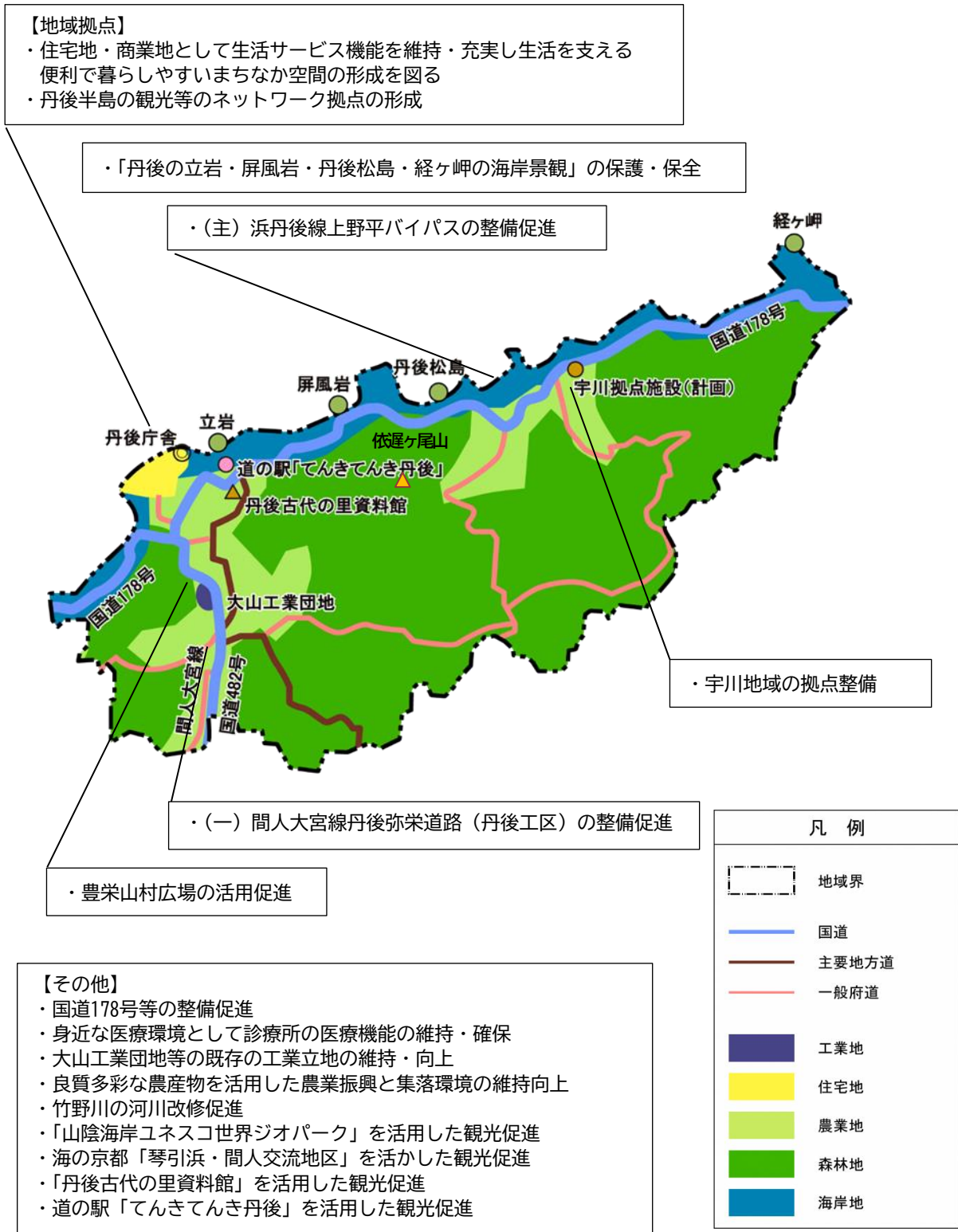
- ・宇川地域に多世代が交流する拠点の整備を推進します。
- ・身近な医療環境として市立診療所の医療機能の維持・確保に努めます。
- ・豊栄山村広場等の活用を促進します。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・大山工業団地等の既存の工業立地の維持・向上を図ります。
- ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上を図ります。
- ・海の京都「琴引浜・間人交流地区」を活かした観光を促進します。
- ・京都府景観資産に登録されている「丹後の立岩・屏風岩・丹後松島・経ヶ岬の海岸景観」の保護・保全に努めます。
- ・「山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク」、道の駅「てんきてんき丹後」、「丹後古代の里資料館」を活用した観光を促進します。

エ 都市基盤

- ・竹野川の河川改修を関係機関とともに促進し、安全で災害に強い市街地の形成を図ります。

主要地方道(主): 高速道路及び一般国道と一体となって広域交通を分担する幹線道路(府道)。

一般府道(一): 主要地方道以外の府道で、地域住民の生活に密着した道路。



図—42 丹後地域の土地利用図

5 弥栄地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和2（2020）年国勢調査時人口は4,671人で、平成27（2015）年5,058人から387人減少（△7.7%）しています。
- ・弥栄町は、東部の中央に位置しており、面積80.32 km²を有しています。



イ 地形・立地状況

- ・弥栄地域は本市の東部の中央に位置し、国道482号や（主）網野岩滝線、（一）間人大宮線などが他地域や市外と連絡しています。
- ・竹野川の周囲に広がる平地部は大半が農地として利用されており、山地の際に集落が点在し、国道482号沿道から市民局にかけて市街地が形成されています。
- ・近年、（主）網野岩滝線沿いに商業施設が設置され、一定の集客力を確保しています。
- ・地域の中心的な集落地は、市民局・市立弥栄病院・老人保健施設などを核として形成されていますが、そのほかは集落が点在しています。南部には公営住宅団地などが立地しており、一部に宅地化の動きも見られます。
- ・地域の中央部には竹野川が流れ、まちの骨格を形成しているほか、溝谷川や野間川などが流れ、うるおいのあるまちを形成しています。さらに、山地部には、味土野の溪谷など優れた自然環境を有する地区もみられます。

ウ 産業等

- ・弥栄地域の大半は山地部で占められていますが、野間などの良好な自然環境が水源となって、良質な農産物が栽培されています。
- ・良質な農産物を産出する地域として知られており、平地部の大半が水田として利用されています。国営農地開発地での畑作が営まれています。農地のほとんどではほ場整備事業が進められており、農地の保全が図られています。
- ・地域内には観光の拠点として、道の駅丹後王国「食のみやこ」や「弥栄あしぎぬ温泉」が立地するほか、自然体験、スポーツ拠点としての「京丹後森林公園スイス村」などが立地しており、多くの観光客が訪れています。

エ 歴史・文化

- ・古代からの黒部銚子山古墳や大田南古墳等や、細川ガラシャ隠棲の地などの歴史的な資源が有しています。

(2) 地域拠点方針

弥栄庁舎周辺の市街地の地域拠点は、住宅地・医療拠点として、生活サービス機能を維持・充実し、周辺住宅地での便利で暮らしやすいまちなか空間の形成を図ります。

竹野川の自然環境や田園集落の景観を保全しつつ、地域内への生活機能を提供する拠点の形成を目指します。

地域で生活し活動するために必要なサービスや施設など都市機能の維持向上を図ります。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・商業機能の集積を促し、地域活力向上の促進と良好な住環境の形成を図ります。
- ・平地等の農業地、国営農地開発地では、農業振興を基本とした土地利用を図ります。

イ 道路交通網

- ・生活機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進を関係機関と調整を図ります。
- ・(主) 網野岩滝線の外村バイパス及び弥栄大橋歩道橋の整備を関係機関と調整し促進します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

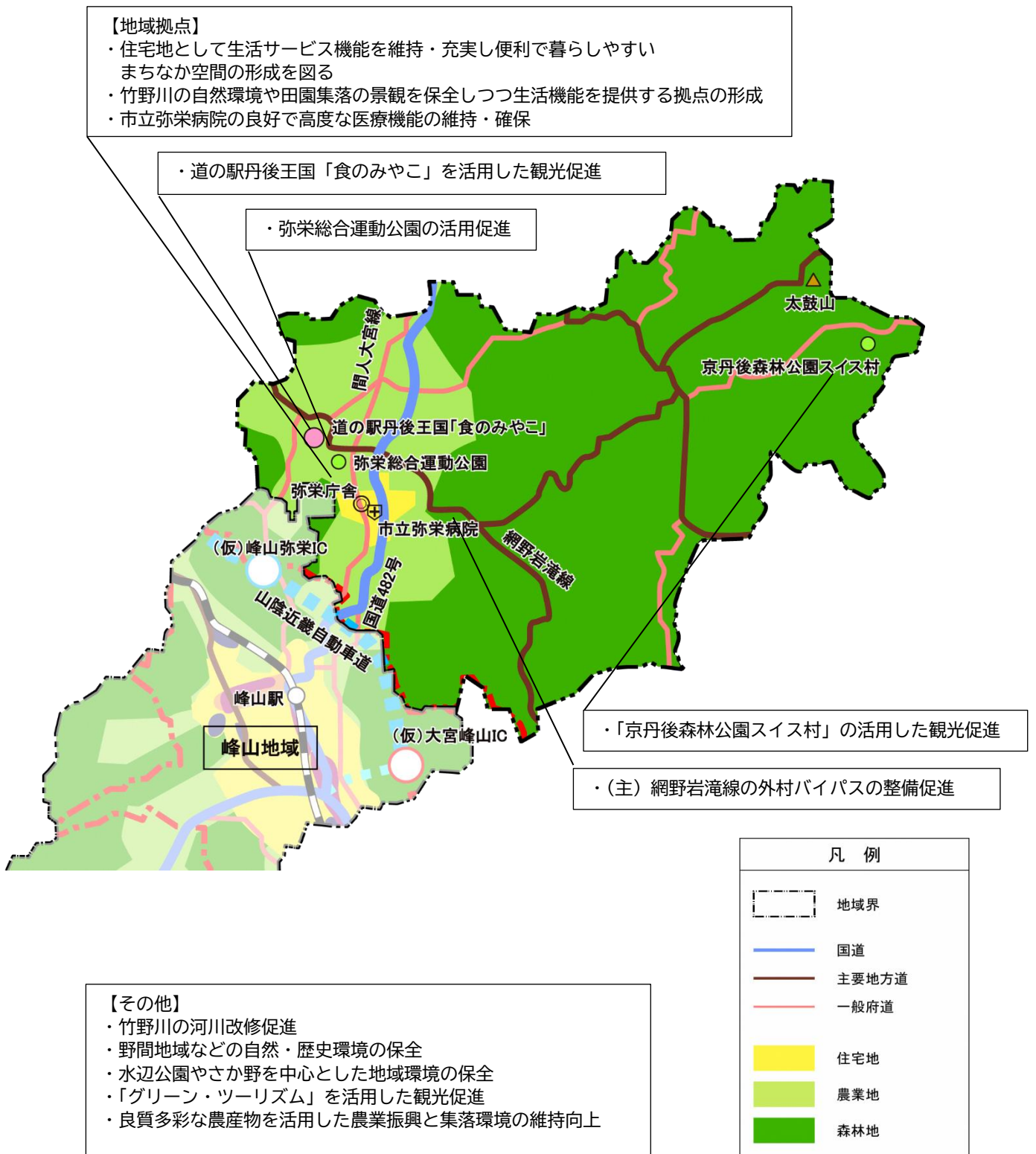
- ・市立弥栄病院の計画的な施設整備を進め、良質で高度な医療機能の維持・確保に努めます。
- ・地域住民の健康増進のため、弥栄総合運動公園の活用を促進します。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上を図ります。
- ・野間地域などの自然・歴史環境を活かすとともに、水辺公園やさか野を中心としたうるおいのある地域環境を形成します。
- ・道の駅丹後王国「食のみやこ」を活用した観光を促進します。

- ・「京丹後森林公園スイス村」や「グリーン・ツーリズム」を活用した観光を促進します。

エ 都市基盤

- ・竹野川の河川改修を関係機関とともに促進し、安全で災害に強い市街地の形成を図ります。

主要地方道(主): 高速道路及び一般国道と一体となって広域交通を分担する幹線道路(府道)。



図一43 弥栄地域の土地利用図

6 久美浜地域

(1) 地域の概要

ア 人口及び面積

- ・令和 2 (2020) 年国勢調査時人口は 8,842 人で、平成 27(2015)年 9,599 人から 757 人減少(△7.9%)しています。
- ・久美浜町は、本市の西部に位置しており、面積 144.95 km²を有しています。



イ 地形・立地状況

- ・久美浜地域は本市の西部に位置し、国道 178 号や 312 号、482 号などにより、他地域や市外へ連絡するほか、(主) 久美浜湊宮浦明線などにより久美浜湾を周回しています。
- ・久美浜湾に面し明治初期に久美浜縣庁が設置された久美浜一区を中心に市街地が形成されており、京都丹後鉄道宮豊線と久美浜湾に囲まれた範囲に集落地が形成されています。
- ・久美浜一区の市街地に商業施設の立地が見られるものの、隣接する兵庫県豊岡市への買い物などの流出が多くなっています。

ウ 産業等

- ・久美浜地域の産業は農業が中心で、稲作や国営開発農地での畑作のほか、東部ではナシ・モモ・スイカ・メロンなどの砂丘農業が営まれており、観光農園なども見られます。また、漁業は沿岸漁業のほか久美浜湾内でカキ・とり貝の養殖業も営まれています。
- ・市街地は、久美浜湾やかぶと山に隣接するほか、映画のロケ地となった久美谷川が流れるなど、自然環境に恵まれています。また、久美浜一区の街なみや稲葉本家のほか、小天橋や古墳群などの観光交流資源が地域内に数多く点在しています。
- ・小天橋、久美浜湾、かぶと山などの観光資源に多くの観光客が訪れており、民宿経営などの観光産業もみられます。

エ 歴史・文化

- ・市街地には、稲葉本家を中心とした歴史的な街なみが形成されており、地域住民による保全活動なども進められています。
- ・久美浜地域は、明治初期に久美浜縣庁が置かれた地であり、現在、(主) 香美久美浜線とこれに平行する 2 路線の市道を軸として、街道型のコンパクトな市街地と歴史的街なみが残り環境整備が行われています。

(2) 地域拠点方針

久美浜庁舎周辺の市街地の地域拠点は、住宅地・医療拠点として、生活サービス機能を維持・充実し、周辺住宅地での便利で暮らしやすいまちなか空間の形成を図ります。

久美浜湾と歴史ある街なみ景観を保全しつつ、地域内への生活機能等を提供する拠点の形成を目指します。

地域で生活し活動するために必要なサービスや施設など都市機能の維持向上を図ります。

(3) 地域の土地利用方針・取組

ア 土地利用方針

- ・商業機能の集積を促し、地域活力向上の促進と良好な住環境の形成を図ります。
- ・市街地での街なみ景観に配慮した土地利用を誘導します。
- ・農業地、国営農地開発地、果樹地では、農業振興を基本とした土地利用を図ります。
- ・かぶと山と久美浜湾の景観と調和した土地利用を図ります。

イ 道路交通網

- ・生活機能を維持確保し、地域拠点と地域内の交通機能の向上を図るため、国道及び主要地方道等の整備促進を関係機関と調整を図ります。
- ・山陰近畿自動車道の網野から久美浜間の早期ルート決定及び早期事業化を関係機関と調整して促進します。
- ・(主) 久美浜湊宮浦明線(西廻り工区) 拡幅を関係機関と調整して促進します。
- ・国道 312 号栃谷歩道の整備を関係機関と調整して促進します。

ウ 都市機能施設、産業、環境

- ・市立久美浜病院の計画的な施設整備を進め、良好で高度な医療機能の維持・確保に努めます。
- ・既存市街地の空家や空地进行を有効に活用し、ゆとりあるまちなか空間の形成を図ります。
- ・地域住民の健康増進のため、久美浜中央運動公園やアメニティー久美浜公園の活用を促進します。
- ・谷工業団地等の既存の工業立地の維持・向上を図ります。
- ・良質多彩な農産物を活用した農業の振興と集落環境の維持・向上を図ります。
- ・久美浜湾周辺の観光資源を活用した周遊ルートを形成します。
- ・海の京都「久美浜エリア」や久美浜湾を活用したカヌースポーツ、小天橋、久美浜一区の歴史的な街なみ、かぶと山などを活かした観光交流を促進します。
- ・京都府景観資産に登録されている「久美浜湾と牡蠣の養殖景観」、「城下町に由来する風情ある久美浜の街なみ」とともに、京都府文化的景観に選定されている「京丹後市久美浜湾のカキの養殖景観」と「京丹後市久美浜湾沿岸の商家建築群と街並み景観」の保護・保全に努めます。
- ・道の駅「くみはま SANKA I KAN」を活用した観光を促進します。

エ 都市基盤

- ・川上谷川及び佐濃谷川の河川改修を関係機関とともに促進し、安全で災害に強い市街地の形成を推進します。

主要地方道(主): 高速道路及び一般国道と一体となって広域交通を分担する幹線道路(府道)。

【地域拠点】

- ・住宅地として生活サービス機能を維持・充実し、便利で暮らしやすいまちなか空間の形成を図る
- ・市立久美浜病院の計画的な施設整備と良好で高度な医療機能の維持・確保
- ・久美浜湾と歴史ある街なみ景観の保全しつつ地域内への生活機能等を提供する拠点の形成

・(主) 久美浜湊宮浦明線(西廻り工区) 拡幅の整備促進

- ・「久美浜湾と牡蠣の養殖景観」、「城下町に由来する風情ある久美浜の街なみ」、「京丹後市久美浜湾のカキの養殖景観」、「京丹後市久美浜湾沿岸の商家建築群と街並み景観」の保護保全



【その他】

- ・山陰近畿自動車道の整備促進
- ・川上谷川及び佐濃谷川の河川改修促進
- ・久美浜湾や小天橋、久美浜一区の街なみ、かぶと山を活用した観光促進
- ・海の京都「久美浜エリア」を活用した観光促進
- ・道の駅「くみはまSANKAIKAN」を活用した観光促進

※山陰近畿自動車道(仮称)網野インターチェンジから久美浜町までの区間は調査中であり計画決定されたものではありません。

図一44 久美浜地域の土地利用図